

ブライミクスが攪拌セミナー「Mixing Vision 2013」で新しく3軸遊星方式の分散、混合、混練機「ハイビスディスペルミックス 3D-2型」を発表

IT分野・化学産業・医薬品・化粧品・食品などさまざまな分野のミキシング技術で活躍するブライミクス(株) (代表取締役社長 古市 尚, 大阪市福島区海老江) は、10月10日(木)、東京都品川のコクヨホールにて攪拌技術セミナーを開催した。

このセミナーでは、花王(株)・片山靖氏の「肌で学んだセラミド乳化技術開発事例」、三重大学大学院工学研究科教授・今西誠之氏の「新型蓄電池の材料開発」および山形大学大学院理工学研究科教授・高橋幸司氏の「近年の液体混合」の3テーマで技術講演が行われた。

この攪拌セミナーは隔年開催で今年で17回目。今回は、最近、話題になっているスキンビューティや次世代蓄電池の材料開発のテーマで行われ、会場いっぱいの参加者が真剣に耳を傾けていた。特に、聴講者が若い世代の研究者、技

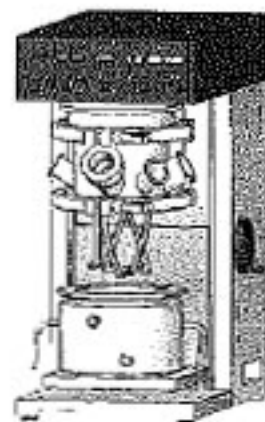
術者であったのが印象的であった。

また、古市社長の挨拶には、小誌読者にも関係の深い「ハイビスディスペルミックス 3D-2型」の新機種を紹介があった。発売は12月24日予定。

この新機種は、3軸遊星方式の分散、混合、混練機の2Lの少量モデルとなっており、化粧品を中心に医薬品、化学品分野などこれまでの「3D-5型」より少ない処理量の用途で活躍が期待されるもの。

特長としては、

- ・1Lから最大2Lまでの攪拌・混合・混練が可能である。
- ・攪拌部の分解が容易になり、短時間で洗浄ができる。
- ・簡単に高速軸の取り外しができる構造で、高速軸を取り外し、ひねりブレードのみの操作も可能である(オプション対応)。
- ・容器は過熱・冷却可能なジャケット付である。



イメージ写真

- ・電源電圧はAC100V (15A)。
 - ・データロギングシステム搭載。SDカードに自動的にデータ保存できる。
- など。

用途は、化学品では、インキ、セラミック材料、磁性材料、エポキシ樹脂など。化粧品では、ファンデーション、パック、メイクアップ、スキンケア製品など。医薬品では、軟膏、バップ剤、テープ剤など。電子材料では、二次電池材料、半導体封資材、コンデンサーなど。その他食品、ファインケミカルなど非常にすそ野の広い産業分野を対象としている。